

NPO法人市原市サッカー協会 4種委員会主管大会における審判団運営の件

皆様、日頃より4種活動への御尽力に深謝申し上げます。

2025年度以降の市原市サッカー協会4種委員会主催の大会運営方法に関し、選手の健康・安全、プレイヤーズファースト、サッカー競技の公平公正性を念頭に、日本サッカー協会、千葉県サッカー協会の各種通達を基に、試合運営に関します審判団の基本的な対応について下記の通り通達申し上げます。

今後の市原市サッカー協会4種委員会主管大会におきまして、意思統一された上で試合運営に尽力頂きますようお願い申し上げます。

1. 選手・関係者の健康・安全を鑑みた長期リーグ戦審判団の構成緩和について【継続】

選手や審判団、運営役員等の関係者の健康・安全確保の観点から、長期リーグ戦等の中で試合開始時間を早めるまたは夕方以降に実施する等の運営上の安全配慮措置が行われる試合に関し、利害関係者以外での審判構成が困難な場合に限り、以下の通り、審判団の構成に対する緩和を適用する。

- 1) 対戦する両チームが了承する場合に限り、当該対戦チーム同士または当該対戦チームを含む利害関係者で構成される審判団を容認する。なお、構成される審判団は、「第18条コモンセンス(良識)」に基づき、公平・公正に試合の決定にあたるものとする。

2. 試合開始前のエントリーメンバー・用具確認およびピッチイン、ピッチアウトについて【変更】

以下は、CFA通達を受け、4種カテゴリーの特徴である複数試合を短期的に実施することに対するスムーズな会場運営、時間の合理性を鑑みた運営内容であることを念頭に置くものとする。

- 1) エントリーメンバー表のメンバー全員に対し、氏名・背番号確認ならびに用具チェックを行う。
- 2) メンバー全員確認方法は、ピッチ脇に全員を並べて確認する方法とする。
- 3) エントリーメンバー表に記載はあるが、会場に到着していない競技者および交代要員の有無を確認する。遅れて到着する競技者がいる場合には、あらかじめ、到着後の通知方法を大会本部(会場責任者)と確認すること。
- 4) エントリーメンバー表に記載の監督、役員の名、人数(大会要項に基づく)をチェックする。
- 5) エントリーメンバー表チェックにより記載不備があれば、その場で修正をさせ、エントリーメンバー表を正しい状態にした後、キックオフを迎える。
- 6) 審判団ならびに選手のマスク着用は拒めないが、熱中症予防を鑑み、原則、外した状態とする。
- 7) 選手チェック後のピッチインは、整列入場せず、各々がポジションにつくように促す。
- 8) キックオフ前の円陣や得点時のハイタッチなどの行為は、個々の自由として制約を設けない。
- 9) 試合終了後は、選手を整列させず、また、ベンチ挨拶も不要として自ベンチに戻るよう促す。
- 10) 試合前後のセレモニーの実施要否は、大会運営責任者・会場責任者からの指示がない限り実施しない。

3. 不測の事態によるF P/GKの交代対応について【通達JFA審0709-M0002より】【継続】

- 1) エントリー表にてゴールキーパーの控えメンバーが設けられていない場合には、予め交代が予測されるフィールドプレイヤーを指定し、ゴールキーパーとなった場合に背番号が異なる場合には、2つの背番号を明記することを推奨する。その場合は、事前に相手チームにも周知する。
- 2) エントリー表にて、ゴールキーパーの控えメンバーが設けられていない場合または控えのゴールキーパー含め、ゴールキーパーが負傷等によりプレー続行が不可能な場合、事前に主審の承認を得た上で、プレーの停止中にフィールド上の競技者またはエントリーした競技者と入れ替わることができる。その際は、フィールドプレイヤーおよび審判団と明らかに区別のできる服装であることが確認できれば、背番号が変更となることは容認される。(背番号等の表示を義務付けない)

4. 戦術上のF P/GKの交代対応について【通達JFA審0709-M0002より】【継続】

- 1) ゴールキーパーが戦術的な理由でフィールドプレイヤー登録のプレイヤーと入れ替わる場合、事前に主審の承認を得た上で、プレーの停止中にフィールド上の競技者またはエントリーした競技者と入れ替わることができる。その際は、ゴールキーパーは他の競技者や審判員と区別された色で、その競技者の番号が表示された服装を着用する必要がある。すなわち、フィールドプレイヤーおよび審判団と明らかに区別のできる服装であること、背番号がフィールドプレイヤーの際と同一であることが必須条件である。
- 2) ゴールキーパーが戦術的な理由でフィールドプレイヤー登録のプレイヤーと入れ替わる場合、背番号が同一のユニフォームを準備できない場合には、同一番号と識別できるよう貼り付け、縫い付け等で対応することを容認する。

5. F P/GKの交代対応時におけるユニフォーム着用範囲【JFA2020年3月18日発行】【新規】

- 1) フィールドプレイヤーからゴールキーパーへの交代の際、当該選手は他の競技者や審判員と区別された色であることを前提に、「ゴールキーパーのショーツ、ソックスは、フィールドプレイヤーと同系色でも良い」のJFA通達に基づき、ユニフォームシャツのみの着替えでゴールキーパーを担うことを可とする。
なお、背番号については「戦術上」または「不測の事態」のいずれかの交代に応じた対応を行うこと。

6. キャプテンが着用するアームバンドに関する緩和【CFA2025年3月31日発行】【新規】

競技規則 2024/2025 第3条競技者の変更により、「各チームにはアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない」と規定されたが、自由交代制を伴うグラスルーツ年代の4種主催大会に対しては、CFA通達を基に以下の運用を適用する。

- 1) アームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない
- 2) アームバンドの代用として、テープなどを着用することができる

7. 補聴器等の器具を着用しての試合出場について【JFA2024年7月25日発行】【新規】

競技規則 2024/2025 第 4 条では「競技者は危険な用具、もしくはその他のものを用いる、または身に付けてはならない」と規定されている。危険な装身具として、ネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、皮革でできたバンド、ゴムでできたバンドなどがあり、装身具をテープ等で覆った形での試合出場も認められない。但し、ヘッドギアやフェイスマスク等の危険ではない柔らかい材質でできている保護用具は、ゴールキーパーの帽子やスポーツメガネと同様に着用が認められる。なお、補聴器等の主に医療目的で着用される器具は、以下の 3 つの条件を満たすことで試合出場することができる。

- 1) 当該選手、大会主催者、審判団、対戦相手チームの 4 者間で事前に着用が同意されていること
- 2) 着用可否は試合毎で上記 4 者間が同意していること
- 3) 補聴器等を装着してプレーしたことにより、当該選手または相手選手が補聴器等の器具の接触が原因で怪我をした場合、当事者間の責任において処理されるものとし、第三者は責を負わないことを上記 4 者間で同意すること

8. 通達の発効日

本通達の発効日は 2025 年 4 月 1 日以降とする。

<関係規則備忘録>

◆競技規則 2024/2025 第 3 条 競技者 4 項 ゴールキーパーの入れ替え

ゴールキーパー以外の競技者は、次の条件でゴールキーパーと入れ替わることができる。

- ・入れ替わる前に主審に通知する。
- ・プレーの停止中に入れ替わる。

◆8人制サッカー競技規則 2020年12月1日発行 第3条 競技者 ゴールキーパーの入れ替え

- ・ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の承認を得て交代を行う。
- ・交代で退くゴールキーパーは境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。
- ・代わりに入るゴールキーパーは、ハーフウェイラインの交代ゾーンから競技のフィールドに入る。
- ・フィールド上の競技者とゴールキーパーが入れ替わる場合、ボールがアウトオブプレーになった時、主審に通知し、主審の承認を得て交代を行う。

◆競技規則 2024/2025 第 10 条 試合結果の決定

- ・試合終了時にフィールドにいた競技者がペナルティーマークからのキックを行う資格がある。
- ・ペナルティーマークからのキックを行う前もしくは進行中、ゴールキーパーが負傷等によりプレー続行が不可能な場合、試合終了時にフィールドにいた競技者または交代枠の最大数を完了していなければ、エントリ―表にある控えメンバーとゴールキーパーの入れ替えができる。

◆競技規則 2024/2025 第 3 条 競技者

- ・各チームにはアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない

以上

発行者：2025年4月 市原市サッカー協会 4種委員会 審判部